

精神・発達障害など メンタル課題での

働きづらさを抱える方の 雇用マネジメント 第2回

Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

好事例から学ぶ ワークショップ in 京都

NPO法人全国精神保健職親会(vfoster)と京都障害者雇用企業サポートセンター(サポセン)の連携でワークショップを開催します。
サポセンが実施している「業種・企業規模を問わず勉強・交流する会」において実施する2回シリーズです。
8月開催の第1回に続き、第2回目を実施します。
第2回目からの参加も歓迎します。



2022年

1月19日 水

会場: 京都テルサ セミナー室



オンライン

参加方法・お申し込みは
裏面をご覧ください

参加費: 無料

京都テルサへのアクセス

京都市南区東九条下殿田町70番地
(新町通九条下ル)
有料駐車場が地下に180台あります。

- JR京都駅(八条口西口)より南へ徒歩約15分
- 近鉄東寺駅より東へ 徒歩約5分
- 地下鉄九条駅4番出口より西へ徒歩約5分

program

13:00 開会挨拶

13:15 現状報告 京都ジョブパーク
『障害のある学生インターンシップ事業』
『障害学生向けの就活セミナー』の現状について

13:45 事例発表
『障害のある学生インターンシップ事業』に参加して
① 京都外国語大学
キャリアセンター 次長 給田 佳名子 様
障がい学生支援室 主幹 梅本 直 様
② 三共精機株式会社
代表取締役会長 石川 武 様

15:00 グループワーク

16:30 まとめ・閉会挨拶

第2回目は、京都ジョブパークが実施している「障害のある学生インターンシップ事業」の現状報告をもとに、障害のある学生の就職活動やインターンシップ活動の現状について意見交換をします。大学側・企業側それぞれの事例を発表いただき、学生採用の課題や職親^(※)マインドを考えてみたいと思います。

※「職親(しょくおや)」とは、精神障害者社会適応訓練事業に協力して当事者を職場に受け入れて、社会参加や職業訓練の場を提供してきた中小企業家のことです。こうした企業家のことを「里親」の言葉になぞらえて職場の親＝「職親」と呼び、全国精神保健職親会はこの「職親」の集まりを発祥とする団体です。

●「好事例から学ぶ ワークショップ」はこんな方におすすめです

これから精神・発達障害者を雇用したいが、どのようなポイントがあるか分からない



精神・発達障害者を雇用したが、当事者への対応に悩みや困り感がある



他社での取り組み事例を参考にしたい



医療や福祉の専門家の視点を学びたい



●ワークショップで目指したいこと

障害者雇用で悩みや疑問を持つ参加者に先輩企業や支援機関の経験を伝えて共有し、意見交換することで参加者が課題解決に向けて行動し始めること

参加お申し込み

会場参加

会場: 京都テルサ 東館2階 セミナー室
定員: 80名

web参加

視聴 URL は参加申込者に別途通知します
定員: 50名

参加費

会場参加、web参加ともに無料

申し込み先

●京都障害者雇用企業サポートセンター 担当: 大前
電話: 075-682-8928 e-mail: support@kyoto-jobpark.jp

●NPO法人全国精神保健職親会 担当: 三原
電話: 06-6307-1616 e-mail: event@vfoster.org

上記のいずれかに、以下の3点を添えて申し込みください

1. 氏名、所属
2. 連絡先
3. 参加方法(会場またはweb)

締め切り

2022年1月11日(火)